

(財) 日本体育協会公認 競技別指導者養成講習会

受講および受験の手引き

2011年1月4日

(社) 日本ダンススポーツ連盟普及本部

1. はじめに

(財)日本体育協会(以下、日体協という。)では、「スポーツ振興基本計画」や「21世紀の国民スポーツ振興方策」にあげられている将来のスポーツ活動を見据え、「総合型地域スポーツクラブ等」で必要とされるスタッフを、マネジメントスタッフ、コーチングスタッフ、メディカル・コンディショニングスタッフと整理し、平成17年度(2005年)から新たな指導者制度をスタートさせました(下図参照)。

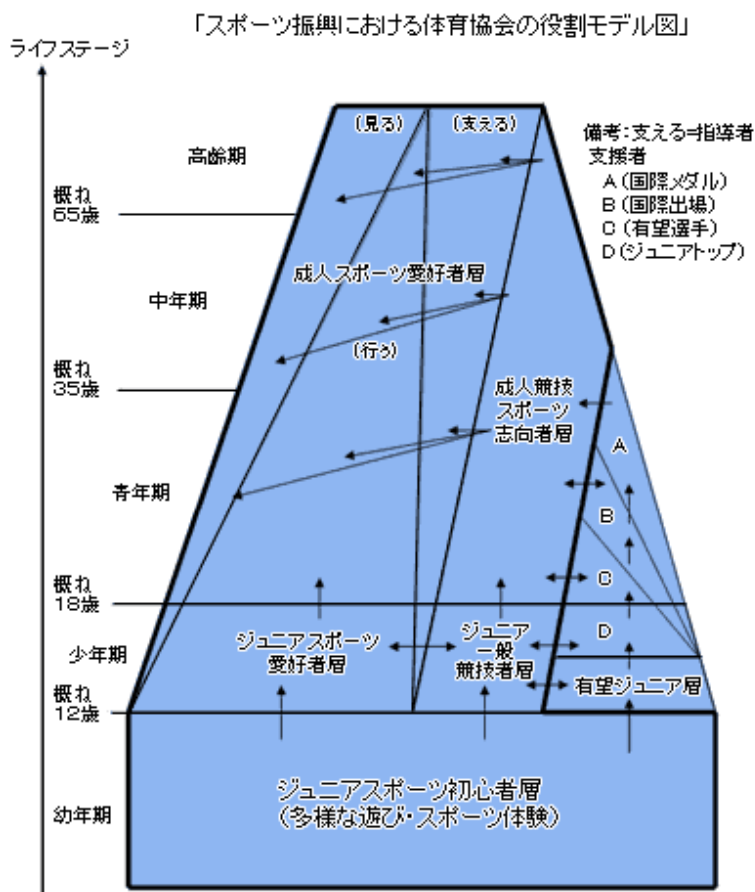
日体協が加盟団体等と養成するスポーツ指導者は、「スポーツ指導基礎資格」、「競技別指導者資格」、「フィットネス系資格」、「メディカル・コンディショニング資格」、「マネジメント資格」の5つに分類することとしています。

(社)日本ダンススポーツ連盟(以下、JDSFという。)では、1999年(平成11年)より独自の指導員制度を構築し、ダンススポーツの指導員育成に力を注いできたものの、日体協の指導者制度には参加してきませんでした。この新たな指導者制度スタートに合わせ、上記のうち「競技別指導者」の育成に取り組むことにしました。

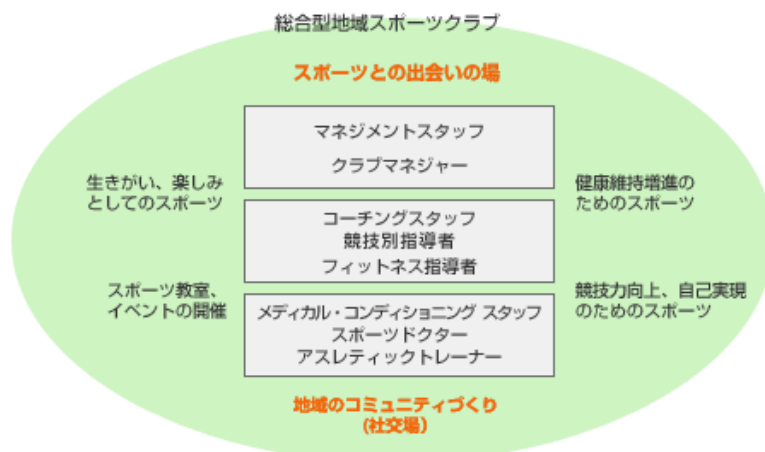
2. 日体協が提唱する競技別指導者資格

日体協が提唱する競技別指導者とは、競技種目別の専門的な知識と指導能力を有する指導者で、各競技団体が策定する「競技者育成プログラム(一貫指導システム)」のもとに、活動拠点や指導対象(年代・志向・能力)に応じた指導法に関するカリキュラムを学ぶ「指導員」、「上級指導員」、「コーチ」、「上級コーチ」と、スイミングクラブやテニススクールなど商業スポーツ施設で指導にあたる「教師」、「上級教師」です。

役割等については、別表1の通りです。



今後期待されるスポーツ活動の場と必要なスタッフ



別表 1

資 格	役 割	認定により備えられる知識と能力
指 導 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたる。 ・ 特に発育発達期の子どもに対しては、総合的な動きづくりに主眼を置き、遊びの要素を取り入れた指導にあたる。 ・ 地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導にあたる。 ・ 施設開放において利用者の指導支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツに関する基礎的知識 ・ ボランティアに関する基礎的知識 ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 初心者に対する基礎的指導法
上級指導員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域スポーツクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる。 ・ 事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。 ・ 地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導において中心的な役割を担う。 ・ 広域スポーツセンターや市町村エリアにおいて競技別指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 多様な能力やニーズに対する指導法 ・ スポーツ教室や各種イベントの企画立案 ・ 組織の育成に関する知識
コ ー チ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域において、競技者育成のための指導にあたる。 ・ 広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。 ・ 広域スポーツセンターが実施する地域スポーツクラブの巡回指導に協力し、より高いレベルの実技指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 国内大会レベルの競技者に対する高度な指導法
上級コーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナショナルレベルのトレーニング拠点において、各年代で選抜された競技者の育成強化にあたる。 ・ 国際大会等の各競技会における監督・コーチとして、競技者が最高の能力を発揮できるよう、強化スタッフとして組織的な指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 国際大会レベルの競技者に対する高度な指導法
教 師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。 ・ 会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 多様な能力やニーズに対応する高度な指導法 ・ ホスピタリティに関する知識 ・ 商業スポーツ施設等の経営に関する基礎的知識
上 級 教 師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として質の高い実技指導を行う。 ・ 会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。 ・ 各種事業に関する計画の立案、指導方針の決定など組織内指導者の中心的役割を担う。 ・ 地域スポーツ経営のためのコンサルティングならびに経営受託の企画・調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 多様な能力やニーズに対応する高度な指導法 ・ スポーツ教室や各種イベントの企画立案 ・ 組織の育成に関する知識 ・ 商業スポーツ施設等の健全な経営能力

3. JDSF が推進する 2011 年度における競技別指導者養成計画

日体協が提唱する競技別指導者資格は、上述のように 6 区分に分類されています。JDSF では、将来的には全区分の指導者養成を目指していますが、2011 年度は、「指導員」と「コーチ」区分の養成に取り組むこととしました。なお、「コーチ」区分については、隔年ごとの開催を考えています。

- (1) 受講条件、共通科目及び専門科目カリキュラムの履修時間など
別表 2 の通りです。

別表 2

資格	養成目的	受講条件	共通科目 履修時間	専門科目 履修時間	日体協への 登録料 (4年間)	JDSF への 登録料 (4年間)
指導員	地域サークル等で子どもたちや初心者・高齢者を対象に、ダンススポーツの基礎的理論、実技指導にあたる指導者を養成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・受講年度の 4 月 1 日現在 18 歳以上。 ・地域サークル等においてダンススポーツ競技の指導にあたっている者、またはこれから指導者になろうとする者で、JDSF の承認を得た者。(注 1) 	35 時間 共通 I (NHK 学園の通信講座による。 (注 3))	40 時間 (うち、集合講習は 32 時間) 免除条件あり。(注 4)	10,000 円 (初回登録料のみプラス 3,000 円)	10,000 円
コーチ	競技者育成計画に基づき、都道府県レベルで競技者の育成にあたる指導者を養成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・受講年度の 4 月 1 日現在 20 歳以上。 ・都道府県連盟の推薦を受け、JDSF の承認を得た者。(注 2) 	152.5 時間 共通 I + II + III (共通 I、II はワークブック、テキストによる自宅学習。共通 III は 6 日間の集合研修。 (注 5))	60 時間 (うち、集合講習は 40 時間) 免除条件あり。(注 4)	10,000 円 (初回登録料のみプラス 3,000 円)	10,000 円

注 1) JDSF 指導員資格を有する者。

注 2) 原則として、JDSF 指導員競技力 A 級を有する者。

注 3) NHK 学園における通信講座

当講座は、NHK 学園が運営する「(財) 日本体育協会公認スポーツリーダー」の養成講座です。通信講座の 3 回の課題について期限を守って提出し、60%以上の得点で終了すると、「(財) 日本体育協会公認スポーツリーダー」として認定されます。また、認定者は、公認スポーツ指導者制度におけるその他専門分野資格取得の際、「共通科目 I」の受講が免除されます。

2011 年度の実施時期は未定ですが、前年度までは 9 月～11 月の受講となりました。

注 4) 専門科目における講習・試験の免除

1. JDSF が定める指導者研修を受講した者。(JDSF 会員以外を想定)
受講した内容程度に応じ、JDSF 指導本部が審査の上、免除科目を決定する。
2. JDSF から、既存の指導員制度で A、B、C 級を付与された者。
JDSF 指導員資格を有し、都道府県連盟が推薦する者は、「指導員」の専門科目の講習・試験の一部を免除する。
3. その他

国際大会等で特に優秀な成績を収めた者で、コーチとしての資質、能力が優れていると認められる者。
上記の者については、日体協と JDSF 指導本部が、内容・程度を審査の上、免除科目を決定する。

注5) 「コーチ」共通科目Ⅲの集合研修の実施予定(具体的な日時、場所)は、日体協の「受講の手引き」(受講者に別送)を参照。

(2) 専門科目の開催期日、開催場所等

1) 指導員

集合講習(32時間)は、下記により実施します。

- ①平成23年9月に行われる三笠宮杯前日に開催されるコンGRESS及び三笠宮杯当日に実施する講習会(16時間)。本講習会は代替がないので参加は必須。注)
 - ②平成24年3月に行われる東京オープン前日に開催されるコンGRESS(8時間)。
 - ③北海道、東北、東部、中部、西部、九州各ブロックにおける JDSF 指導員研修会の一つを指定(8時間)。ただし、免除される場合がある。
- 注) 上記の①に参加する場合、競技会への出場はできない。

2) コーチ

集合講習(40時間)は、下記により実施します。

- ①平成23年9月に行われる三笠宮杯前日に開催されるコンGRESS(8時間)。
- ②平成24年1月7日～9日に予定している講習会(於:東京、16時間)。
本講習会は代替がないので参加は必須。原則として合宿講習。
- ③平成24年3月に行われる東京オープン前日に開催されるコンGRESS(8時間)。
- ④北海道、東北、東部、中部、西部、九州各ブロックにおける JDSF 指導員研修会の一つを指定(8時間)。ただし、免除される場合がある。

(3) 「コーチ」共通科目の開催期日

1) 集合研修(共通科目Ⅲ)

当該年度7月から12月にかけて6日間で実施します(別表2参照)。

2) 自宅学習(共通Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)

集合講習受講前の3ヶ月間程度。

(4) 受講申込

1) 受講条件

別表2の通りです。

2) 受講者の決定

①「指導員」受講希望者

- i. JDSF 所定の受講(仮)申込書(別掲)に必要事項を記入の上、都道府県連盟会長の推薦を得て、5月31日(火)までに JDSF へ申し込みます(FAXでも可)。
- ii. JDSF は、仮申込者に対して、日体協より所定の申込書が届き次第(2010年度は6月以降)を送付しますので、記入・捺印の上、JDSF へ直接返送します。

Ⅲ. JDSF は、書類を確認した後、日体協へ申請します。

Ⅲ. 日体協は、受講者を内定し、NHK 学園を通じて本人に通知します。

(参考) 共通科目履修の免除に関して

すでに日体協公認資格を取得されている場合は、ほぼ共通科目 I 部分が免除になります。

レクリエーション協会が養成しているレクリエーションコーディネーターはこれまで通り免除になります。

また、平成17年度以降は体育大学を卒業していると、卒業証明書での免除ができるようになっています。

② 「コーチ」受講希望者

i. JDSF 所定の仮受講申込書に必要事項を記入の上、都道府県連盟会長の推薦を得てJDSF に2月28日(月)までに申し込みます。

ii. JDSFは日体協に受講希望者個人調書を提出します。また、受講希望者に日体協作成の『受講の手引き』を送付します。

iii. 日体協は関係書類を確認した後、受講決定者へ受講決定通知等の関係書類を送付します(4月中旬)。

iv. 受講希望者は、日体協所定の受講申込書に必要事項を記入し、免除該当者は所定の必要書類を添付し、別に定める受講料(または免除審査料)をJDSFあて、5月31日(火)までに提出します。

v. JDSF は前記必要書類ならびに受講料(または免除審査料)をとりまとめ、日体協へ提出します。

(参考) 共通科目履修の免除に関して

すでに日体協公認資格を取得されている場合は、ほぼ共通科目 I 部分が免除になります。

また、体育大学卒業者は、平成16年度までの卒業生の場合は、卒業時に免除申請をしていないと免除になりません。

平成17年度以降は体育大学を卒業していると、卒業証明書での免除ができるようになっています。

(5) 検定・審査

講習に基づく、検定・審査は、共通科目と専門科目に区分して実施します。

1) 指導員

①共通科目における検定は、通信課題による判定とします。

②専門科目における検定は、技能検定を主体に筆記試験などを加えた総合判定とし、9月に行われる三笠宮杯当日に実施します。

試験範囲は、主にJDSF発行の「ダンススポーツ教程」の内容とします。

③共通科目、専門科目のいずれもの検定に合格したものが、「公認指導員養成講習会修了者」として認められます。

2) コーチ

- ①共通科目における検定は、筆記試験による判定とし、日体協において審査します。
- ②専門科目における検定は、技能検定を主体に筆記試験等を加えた総合判定とし、JDSF の専門科目検定委員会において審査します。
- ③共通科目、専門科目のいずれもの検定に合格したものが、「公認コーチ養成講習会修了者」として認められます。

(6) 認定及び登録

共通科目及び専門科目の検定に合格した者には「合格証」が発行され、その後、指導者登録の手続きを完了した者には、日体協公認指導員として「認定証」及び「登録証」が交付されます。

なお、資格の有効期間は4年間で、本資格を更新しようとする者は、資格有効期限内に別途定める研修を受けなければなりません。

(7) 2009年度講習会受講等の年間の流れ

指導員 月 事項	2011年												2012年		
	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施要領周知	○	○													
受講申し込み	○ (仮)	○ (仮)	○ (仮)	○ (仮)	○	○									
受講決定通知							○								
NHK学園受講 (予定)									○	○	○				
専門科目講習会				○	○	○	○	○	三笠 宮杯	○	○	○	○	○	東京 OP
専門科目検定									○						
結果通知															6月 下旬

コーチ 月 事項	2011年												2012年		
	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施要領周知	○	○													
受講申し込み	○ (仮)	○ (仮)													
受講決定通知			○ (仮)	○											
共通科目自宅学習					○	○	○	○	○	○	○				
共通科目Ⅱ、Ⅲ集合 講習会								○	○	○	○				
共通科目検定試験 (いずれかで受験)														○	○ 及び 5月
専門科目講習会				○	○	○	○	○	三笠 宮杯	○	○	○	○	○	東京 OP
専門科目検定													○		
結果通知															6月 下旬

(8) 経費

受講・検定・審査・登録に係る経費は、別表3の通りです。

別表3

	受 講 料			登録料 (4年間)		初年度計
	日 体 協		JDSF	日体協	JDSF	
	共通科目	専門科目	専門科目	*		
指導員	21,000	14,700	10,000	10,000	10,000	66,000
コーチ	18,900	10,500	10,000	10,000	10,000	59,700

*初回登録には一律 3,000 円プラス

なお、上記以外に、コンGRES、合宿など専門科目受講に際して別途費用が必要となります。

(9) その他

1) 指導員

- ①受講者は、原則として、同一年度内に共通科目（通信講座）、専門科目を履修することとします。
- ②受講有効期限は、受講開始年度を含め4年間とします。

